



新しい利益性への企業の転換と資本力という基盤における新しい可能性

令和6年12月8日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

これらはグローバル経済における新しい開発競争への参加における企業の新しい必要性なのである。

これらは無駄を完全に排除し、企業のシンプル化と効率化を新たな企業システムの構築において実現し、新しい効率性における企業経営の構築と高い利益性への転換を提案するものである。

これらは資本力と開発力という新しい市場における要求へ企業が自己を新たに求められることへの判断なのである。

これらはまた次世代という新しい企業への要求をクリアすることにおいて、新しいグローバル市場と経済への参加を実現することが求められるものである。

これらは、企業の独立性の維持が、市場への従属でなく企業の自己コンセプトの実現を可能とできるからなのである。

これらは資本力と開発力、次世代という基準における企業の転換と新しい自己構築においてその未来という新しい可能性への参加を実現できるのである。

次世代という技術基準における企業の刷新は、新しい企業製品の開発を求められ、それらが新しい現実という市場を牽引できるのである。

これらは市場先端性という現実への到達を企業に提案するものであり、これら現実の育成は、企業経営への新しい企業基準やコンセンサスの形成を要求するのである。

これらは企業道力という基盤が、時代という潮流に対し、その新たな企業の可能性の実現を可能とできるのである。

これらは新しいステージへの参加であり、企業基準や風土において、新しい現実と基準を要求されるためなのである。これらが飛躍という挑戦なのである。